

戦後、高度経済成長の中、人びとの暮らしはどんどん豊かになりました。その一方で、四日市だけでなく全国たくさんの都市で大気汚染や水質汚濁、騒音などさまざまな公害が発生し、たくさんの人びとが苦しみました。

本企画展では、全国で起こった公害について、当時の世の中の流れとともに展示します。また、そんな時代の中、四日市さらには日本の環境を良くするため立ち上がり取り組んだ人びとの『ことば』を通じて、四日市公害と環境改善の歴史を紹介します。

歴史を未来へのみちしるべとして、四日市公害の経験から未来の環境を良くするためにわたしたちが学べることは何でしょう。一緒に考えてみませんか。



苦しむ患者



煙でかすむコンビナート（1962）



塩浜病院空気清浄病室にて（1966）



第1コンビナート（1971）

関連行事

語り部さんのお話を聞こう

4館の公害資料館から語り部の方にお越しいただき、当時のお話を伺います。

●第一回「新潟県立環境と人間のふれあい館—新潟水俣病資料館—」と「四日市公害と環境未来館」

日時：令和7年7月6日（日）14:00～16:00（予定）

●第二回「水俣市立水俣病資料館」と「富山県立イタイイタイ病資料館」

日時：令和7年7月26日（土）14:00～16:00（予定）

◆対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

◆場所：博物館1階講座室

◆定員：各回50名程度

◆聴講料：無料

◆申込：要（第一回と第二回はそれぞれ別でお申し込みいただく必要があります。）

◆締切：第一回 6/20（必着）「新潟水俣四日市語り部さん」係

第二回 7/10（必着）「水俣富山語り部さん」係

開館10周年記念

「戦後の公害・環境行政の歴史とそこから学ぶこと 宮本憲一×岡田知弘」

四日市公害裁判の原告側最初の証人となり、「戦後日本公害史論」（岩波書店）で日本学士院賞を受賞された宮本憲一さんと、四日市市史第19巻を執筆された岡田知弘さんに、当時のお話や戦後の公害・環境行政の歴史、そこから私たちが学ぶことについてお話しいただきます。

日時：令和7年8月9日（土）14:00～15:40（予定）

講師：宮本 憲一氏（経済学博士、大阪市立大学名誉教授、滋賀大学名誉教授、滋賀大学元学長）

岡田 知弘氏（経済学博士、京大名誉教授、京都橘大学学長）

◆場所：じばさん6階ホール

◆定員：130名程度

◆聴講料：無料

◆申込：要

◆締切：7/24（必着）「環境歴史」係



宮本 憲一氏



岡田 知弘氏

申込方法

応募フォームからお申込みいただくか、以下①、②、③を明記の上、ハガキ・FAX・E-mail、1階図書コーナーでお申し込みください。

①行事名 ②代表者の連絡先（名前（ふりがな）/郵便番号/住所/電話番号） ③参加者全員の名前/年齢

当日は、手話通訳・要約筆記がございます。応募多数の場合は抽選となります。締切後、当選者の方にのみ通知を送ります。

開催5日前をめどに通知が届かなければ落選です。最新の情報は、当館ホームページにてご確認ください。



応募フォームはこちらから

2階 四日市公害と環境未来館常設展について

四日市公害の発生に至る経緯や被害、環境改善に向けたさまざまな方策等について展示するほか、気候変動や生物多様性などの問題について、体験・体感型の展示を行っています。企画展と併せて常設展もぜひご覧ください。



次回展覧会のご案内

プラネタリウムのご案内

特別展

手塚治虫展

9月20日（土）～11月24日（月・振休）

ファミリー番組「ドラえもん 宇宙の模型」

一般番組「星の降る夜に～流星群の正体に迫る～」

6月10日（火）～8月31日（日）

四日市公害と環境未来館
SNS・HP

instagram



HP



四日市公害と環境未来館



アクセス ● 近鉄四日市駅・あすなろう四日市駅から西へ徒歩3分 ● JR四日市駅から西へ徒歩20分

● 近鉄四日市バス停から徒歩3分 文化会館前バス停から徒歩2分

JAパーキング（安島二丁目）をご利用の方はサービス券をお渡しします。受付まで駐車券をご提示ください。